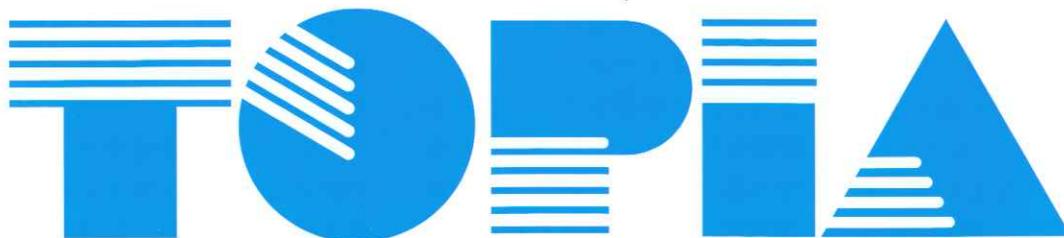


第61号



2014.09



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL:088-656-3303

2014年度 外国人による
徳島県日本語弁論大会



出場者と審査員の方々

7月13日(日)、たくさんの方々に御協力いただき「2014年度 外国人による徳島県日本語弁論大会」を開催することができました。今年度は7か国1地域11名の方々が出場をし、会場に来られた約200名の聴衆の方々は熱心に聞き入っておられました。また、弁論大会終了後の交流会では、出場者と来場者の方々が意見交換をしながら一緒に楽しいひとときを過ごしました。

最優秀賞は、徳島北高校の外国語指導助手(8月帰国)、ロシエル ホームズさんが受賞されました。

最優秀賞受賞スピーチ「恩送り」

外国語指導助手 ロシエル ホームズ
(アメリカ合衆国)

あ あなたは大切な贈り物もらったことがありますか。もらった時どう感じましたか。何回も「ありがとう!ありがとう!」と言いましたか。一方、何も言えなかったほど、感動しましたか。それとも何かお返しをしましたか。その感謝を感じた瞬間はとても大切だと思います。感謝の気持ち

はどうやって世界を変えることができるかどうか、今日、お話しするつもりです。

日本に来る前に贈り物の習慣について勉強しました。日本人はどんな時でも贈り物をするものだと思っていた。また、家の中が、忘れ去られたオモチャなどで散らかっているのを想像していました。なぜ、

小さな家に住みながら、物を贈ったり贈られたりする習慣があるのだらうと思っていましたが…。

徳島に暮らしてみたら、答えを知るようになりました。「おみやげ」は特別なものではなく、遠くの地域の珍しい食べ物や役立つ品物を贈ることにとっても驚きました。アメリカでは友達にタオルやしゃもじを贈ることはとてもおかしいことです。自分でそれを買うことができないからでしょうか？そうではなく、日本では、その地域の品物を贈ることにより、相手への心遣いを示し、喜ばれることになるのです。

つまり、「おみやげ」は人の親切に報いるためのものなのです。私はこれらの「おみやげ」が人と人とを結びつけ、地域から全国へと広がり、相手のことを思いやる日本人気質を形成していると考えます。

この贈り物の習慣を知っても、私にとって馴染むのは大変でした。贈り物をいただいた人のことをいつも心に留めて、どうしたら感謝の気持ちを伝えられるのかを考えなければなりません。

初めての大きな経験は、北島町であるおばあさんとの出会いでした。道に迷った時に畑にいたおばあさんが「なにしょん」と聞いてくれて、「道に迷ったんですが・・・」と話をしました。しばらく、おばあさんと会話をした後、袋いっぱいの野菜をいただくことになったのです。数日後お礼にクッキーを持って行くと、今度はもっとたくさんの新鮮な野菜を持たせてくれました。もちろん、私もまたお返しを

しました。そして、そのおばあさんとの贈り物の交換を通して、彼女は私にとって特別な日本のおばあさんとなったのです。

しかし、好意を返せないこともありました。日本での初めてのクリスマスの時です。教会で懐かしい賛美歌を歌っていた時、故郷への思いで涙が溢れてきました。その夜、家に帰るとケンタッキーフライドチキンの袋が玄関のドアにかけてありました。それは牧師さんの奥様からでした。アメリカの味がホームシックの

私にはまさに必要だったのです。彼女の優しさに対して、どうやって報いることができるのでしょうか？

このような多くの経験を通して、私は「恩」という気持ちで胸がいっぱいになりました。

徳島の皆様は、私たちのような一時的な訪問者に対しても気をかけてくれ、たくさんの時間を注いでくれます。たとえ直接お返しができなくても、周りの人に親切にすること、優しくすることを続けていくことが大切だと思います。

私が帰国したら、アメリカにきた外国人に対して同じように温かい気持ちで接し、お返しを期待することなく「おもてなし」をしたいと思います。

日本でのこのような経験を私たちは忘れてはいけないと思います。それぞれの国に帰り、「恩を返す」ことが私たちのすべきことではないでしょうか。日本はきっと、私とおばあさんのような関係を世界のすべての国の人たちと結べると思います。(原文どおり)



二〇一四年度外国人
徳島県日本語弁論大会



弁論中のホームズさん



質疑応答中

TOPIA 夏のイベント報告

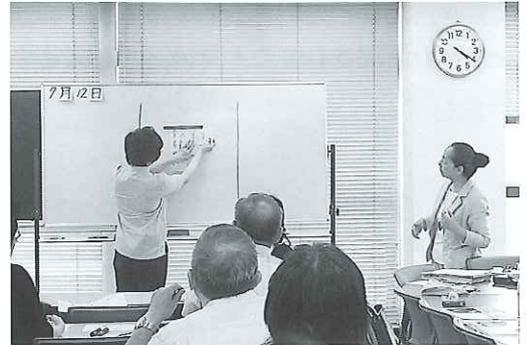
日本語指導ボランティア スキルアップ講座

外

国の方に日本語を教えていると、文法や語彙について次から次へと質問をされることがあります。その度に、分かりやすく説明するにはどうしたらよいのか、自問自答の繰り返しです。そこで、この講座ではボランティアの方が直面している具体的な問題点や困難な点にスポットをあて、それらを少しでも解消できるよう講義とワークショップを交えた研修を5月から7月にかけて5日間行いました。

鳴門教育大学大学院の田中大輝先生には、学習者に難しい質問をされてもあわてないですむよう文献やインターネットを使った調べ方や、日本語の規則性について講義いただき、その講義を受けた次週には、当協会の日本語講師青木洋子先生が、実践的なワークショップをおこなって下さいました。

また「発音・発声の基本や日本語学習者を意識した話し方」については、アナウンスグループ・カインド代表の平木彰子さんを講師にお招きし、基本的な理論を学んだあと実際に声に出して練習しました。今後の日本語教室での活動に活かしてもらえれば幸いです。
(文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業により実施)



夏休みこども日本語教室

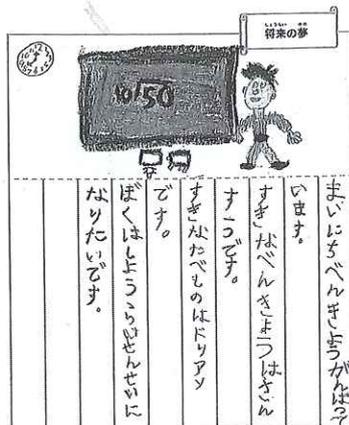
今

年も恒例のサマースクールが7月22日(火)～8月2日(土)のうち、8日間開催され、外国にルーツを持つ10か国の小・中学生29名が参加しました。

マンツーマンで行う個別学習では、各自の夏休みの宿題をしたり、スタッフが子供たちのレベルに合わせて用意した教材を使って、言葉の勉強をしたりして、各自真剣に取り組んでいました。一方、全体学習では自己紹介や、ことばさがしゲーム、ビンゴゲームなどのほか、読み聞かせ、図形や標識の勉強なども行い、このような様々な活動を通して、子ども同士が交流を楽しみました。

また、絵日記を書いたり、子どもたちが各自の思いや夢を発表したりしました。

初めは不安そうだった子ども達もだんだんお互いに打ち解け合い、なごやかな雰囲気の中にも活気ある日本語教室となりました。サマースクールを通して、自分と同じように頑張っている仲間がいることを励みに、これからもそれぞれの学校や生活の場で頑張ってほしいと思います。
(事業受託団体「JTMとくしま日本語ネットワーク」記)



小学5年生 マレーシア (在住3か月)



小学3年生 モンゴル (在住1年)



中学2年生 アメリカ (在住7年)



職場体験・インターンシップの受入

5

月には徳島中学校や富岡東中学校、8月11日～15日には徳島大学から生徒や学生を受け入れました。日本語教室の見学や補助、外国人観光客への観光案内、国際交流員や窓口相談員・JICA 推進員からの職務に関する話を通して、当協会の役割や国際関係の仕事についての理解を深めていただきました。研修された皆さんの将来の夢はそれぞれ違いますが、一人ひとりが、この研修をきっかけに研鑽し、グローバルな舞台上で活躍されることを願っております。



外国人観光客への観光案内



日本語教室の見学

中高校生夏期英語セミナー



英

語によるコミュニケーションをとおして外国への一層の理解を深め、これからの国際化を担う青少年の育成を図ることを目的とした中高校生夏期英語セミナーが、8月12日（火）から14日（木）まで、阿波市土成町の四国霊場第七番十楽寺において開催されました。今年度は徳島県内の国際交流、英語などに興味がある中高校生40名と外国語指導助手（ALT）47名が参加しました。2泊3日という短い期間でしたが、多くのALTの先生方と一緒に過ごすなかで互いの文化に触れ、国際理解について学ぶことができました。



セミナー最終日にみんなで集合写真

阿波おどり交流事業 あらそわ連



8

月14日（木）、17か国1地域の外国人約110名を含む総勢約250名が徳島市内演舞場に踊り込みました。多様な国籍の方々が「ヤットサー、ヤットサー」と大きな声で掛け声をかけながら二拍子のリズムにあわせて阿波おどりの熱気に包まれながら踊りを満喫しました。「あらそわ連」は争いごとのない世界を願って誕生した連です。今年も、たくさんのご参加ありがとうございました。



市役所前演舞場に元気よく踊り込みました！

離任、着任される国際交流員の皆さん

離任あいさつ

徳島での3年間 ～私の人生は踊りだ～

前徳島県国際交流員 マーティン・ラートマン

私

は、この3年間JETプログラムを通して、様々な人々と出会い、たくさんの貴重な体験をすることができました。

特に印象に残っているのは、日独友好のため、徳島県とニーダーザクセン州の交流を深める仕事に携われたことです。音楽や剣道、柔道などの学術交流やドイツ連邦大統領のコーディネイトなど、様々な訪問団体に随行し、案内役を務めました。昨年と今年に行われた、徳島とドイツのマラソン交流を通して、私自身もとくしまマラソンで走りたいという気持ちが生まれ、幸いなことに「とくしまマラソン」に参加する機会を得ることができました。そして、ちょうどその日は、私の30歳の誕生日でもあり、私にとって一生忘れられない良い思い出となりました。

阿波踊りも私にとって忘れられない体験です。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損々」と歌われる言葉の意味を、私は「この一瞬を生きよう!新しいものを試そう!」と解釈し、私のAwa Lifeは、まさにこの言葉通りのものとなりました。

また、徳島県内の霊場を訪れ、徳島の美しい風景、人の温かさに触れ、もっと遍路がしたくなりました。徳島は私の第二の故郷です。ここで出会った友人と過ごした時間は、私の人生にとってかけがえのない思い出です。

最後になりましたが、このような貴重な経験をさせて頂き、また支えて下さった皆様に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



着任あいさつ

新国際交流員 Welcome to Tokushima!

ティル ドウムケ

はじめまして。ティル・ドウムケと申します。ドイツの首都ベルリンから参りました。生まれも育ちもベルリンです。今年7月フンボルト大学を卒業したばかりで、すぐ日本に参りました。大学の専攻は地域学という文化人類学と言語学を交ぜた学際的なものでした。在学中、日本語で日本の文化を勉強する機会に恵まれ、日本の映画を通して、いろいろ日本について学びました。特に好きな監督は市川崑と是枝裕和です。邦画史についてもいろいろ学べてとても面白かったです。

2012年の夏から2013年の夏まで東海大学に留学し、集中的に日本語を勉強しました。その後、秦野市にある英会話学校で先生として働いた時に、少し国際的な考え方を学んだのですが、今回は県庁と国際交流協会では一生懸命に頑張りたいと思っています。

徳島県は初めてですが出来る限り徳島県とドイツのニーダーザクセン州の絆を深めたいと思っています。皆さま宜しくお願いいたします。



左:ティルさん 右:崔さん

崔 福実

はじめまして、崔福実と申します。中国湖南省から参りました。徳島県に来てもう4か月になりました。仕事のほかに、おいしい徳島の料理を食べたり、名所をまわったりして、毎日楽しく過ごしています。あらそわ連の阿波踊りにも参加させていただき、本当にラッキーでした。今年、国際交流員として徳島県に着

任できたことを大変光栄に思います。人と人との触れ合いがとても大切だと思います。この貴重なチャンスを生かして、日本の皆さんに中国の伝統文化、社会情勢、慣習などをいろいろと紹介すると同時に、日本の方々との交流や色々なものに触れることを通して、日本語力をさらに高め、日本の文化や社会についての理解を深めたいと思います。特に湖南省と徳島県の架け橋になって、両地域の友好交流推進のために力を尽くしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

平成26年度 後期TOPIA 日本語教室 受講案内

■クラスおよび講師

*クラスはそれぞれ全20回です。教科書「みんなの日本語I」または、「みんなの日本語II」（第2版）が必要です。
*水曜日、土曜日、日曜日のグループレッスンは事前にお申し込みください。（当日の申し込みの場合、受講できない場合があります。）また、グループの数がかぎられているため、自分のレベルにあわないこともあります。

日	講 師	講 義 内 容	開始日
火	入門 元木	日本語の基本的な表現を初歩から学習する。 《みんなの日本語I》1課から	10/7
水	グループ レッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。 *子育て中の方は、隣の会議室で開催する子育てサロンで保育士に子どもを預けることができる（要予約）	10/1
木	初級II 山田	動詞のいろいろな活用形を学び、豊かな表現を学習する。 《みんなの日本語II》26課から	10/2
金	初級III 青木	初級後半、理由、受身、使役、敬語表現などを学ぶ。 《みんなの日本語II》38課から	10/3
土	グループ レッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。	10/4
日	初級I JTM	動詞のいろいろな活用形、また、それらを使った文型を学習する。 《みんなの日本語I》14課から	9/28
	グループ レッスン	サロン形式で、学習者のニーズに応じて自由に日本語を学ぶ。	9/28

1. 受講料（資料代含む） 1500円（全20回） ただし申し込み時、受講回数が10回未満の場合は750円になります（一度納入した受講料は、途中で受講しなくても返金しません。）
2. 教科書 「みんなの日本語I」または「みんなの日本語II」（第2版各2625円）

木 (無料)	特別入門 木村 ほか	ひらがな・カタカナが読めない、書けない人が対象。かなの読み書きを学びながら語いを増やし、上記の日本語クラスでの勉強につなげられるような学習を行う。また、生活情報の交換・案内なども随時行う。	通年
-----------	---------------	--	----

*時間は全て10:30～12:00です。*天候（台風・大雨・雪）等により当日急に休講になることがあります。ご了承ください。
その場合、クラスがあるかないか分からない場合は電話でご確認ください。（TEL088-656-3303）【10:00～18:00】

■地域での日本語教室

阿南市国際交流協会、藍住町国際交流協会、吉野川市国際交流協会、NPO 法人美馬の里でも開催しています。

介護の日本語講座・保護者のための日本語講座 案内

（公社）徳島県労働者福祉協議会主催による各種日本語講座が9月から開講されます。

詳細は、<http://tokushima.rofuku.net/> をご覧の上、直接お申し込みください。（088-625-8387）

徳島県立防災センター・スタディ・ツアー開催のご案内

徳島県では南海トラフ巨大地震への対応の重要性が大きく高まっています。大地震が発生したら、あなたはどうしますか？

当協会では、県内に在住する外国人の方に災害に対する備えを学んでもらうための「徳島県立防災センター・スタディ・ツアー」を開催します。

このスタディツアーでは、地震や暴風を疑似体験することでこれらの恐ろしさを体験できるほか、災害が起きたらどうすればいいかを学ぶこともできます。

この機会にぜひ参加し、防災の知識を深めてください。

日 時：平成26年9月28日（日）10:30～13:00 ※貸切バス等で移動します。

場 所：徳島県立防災センター（板野郡北島町鯛浜字大西165）

対 象：徳島県内に在住する外国人の方

研修内容：映像による防災ガイダンス、地震、暴風など自然災害や消火

※英語および中国語の通訳が付きます。

募集人数：約30名（先着順、ご参加いただける方には改めてご連絡します）

参加費：無料

参加申込：①氏名②住所③電話番号④国籍⑤Email⑥職業を記載の上、メールもしくはFAXでお送りください。

締 切：9月22日（月）

申 込 先：FAX (088) 652-0616 E-mail: coordinator1@topia.ne.jp（担当：木村）

JICA 青年海外協力隊・シニア海外ボランティア募集説明会



JICA 青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの秋期募集説明会を TOPIA で開催します。「JICA ボランティアについて具体的に話を聞きたい」「個人的に不安な点を聞いておきたい」等、ボランティア事業に関する質問はなんでも受け付けます。気になる点を解消して、国際協力への第1歩につなげてください。

< JICA ボランティア体験談 >

徳島県出身の JICA ボランティアが活動報告をします。開発途上国といわれる国での暮らし、悩みや葛藤、喜びや感動を語ります。

10月5日(日) 13:30～17:00

JICA ボランティア募集説明会、映画無料上映会、JICA ボランティア合格サポート講座を同日開催。

映画「世界の果ての通学路」無料上映

文字どおり“命懸け”で学校に通う世界各国の子どもたちの通学路に密着したドキュメンタリー。険しい道のりも何のその、互いに励まし合いながら学校へと向かう子どもたちの生き生きとした姿を描き、本国フランスでは、動員 130 万人を超える大ヒットを記録。

第 39 回セザール賞 2014 にて「最優秀ドキュメンタリー賞」も獲得した。



～ JICA ボランティアになるためには～「合格への道」講座

JICA 四国支部長が、JICA ボランティアになるための心得や受験対策を伝授します！

10月18日(土) 13:30～17:00

JICA ボランティア募集説明会、はじめての方の TOEIC 対策講座を同日開催！

「初めての方のための TOEIC330 点」講座（無料）

英語なんて怖くない！ TOEIC スコア 330 点を取るコツを伝授します。

〈場所〉 とくしま国際戦略センター会議室（10 / 5、10 / 18 両日）〈予約〉 不要

〈JICA ボランティア秋募集受付期間〉 2014 年 10 月 1 日（水）～ 2014 年 11 月 4 日（火）

〈お問合せ〉 JICA 徳島デスク（TOPIA 内） 電話：088 - 656 - 3303

メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp（担当：久保）

プロトコールセミナー

グローバル化の進展により、海外とのビジネス取引や、また日本を訪れる外国人旅行者も増えています。こうした中、2020 年東京オリンピック開催に向け、関心が高まりつつある国際儀礼についてのセミナーを開催いたします。

講演テーマ：国際儀礼の基礎知識 ～四十年間の外交官生活で学んだこと～

講師：日本マナー・プロトコール協会理事（元外務省儀典企画官）寺西 千代子 氏

日時：平成 26 年 10 月 9 日（木）開場 13 時 / 開演 13 時半～ 15 時

会場：アスティとくしま【第 1 特別会議室】

問合せ先：088-654-0103 主催：（公財）とくしま産業振興機構・徳島県

詳細：http://www.our-think.or.jp

「とくしま外国人支援ネットワーク会員」 募集中

当協会では、自主的に外国人の方を支援していただく「地域共生サポーター」のほか、「語学ボランティア」「災害時通訳ボランティア」「ホームステイ・ホームビジットボランティア」「活動支援ボランティア」を随時募集しています。

近年、気象の変化に伴い台風などをはじめ、南海トラフ巨大地震も危惧されています。ぜひとも、災害時通訳ボランティアをはじめ、この制度に、多くの皆様のご協力をいただき、外国人の方をサポートして頂ければ幸いです。

ホストファミリー大募集！

近年、ホームステイの依頼が増加していることに伴い、ホームステイ・ビジットを受け入れてくださるホストファミリーを緊急募集しております。家庭で様々な国際交流を体験してみませんか？

これらの制度の詳細な内容、登録書類、ボランティア依頼の申請書は、当協会ホームページからダウンロードできます。

英語・中国語 多言語電話相談（窓口案内）員

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語対応の相談（窓口案内）員を配置しております。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフォン）もごさいませ。是非、ご利用ください。
英語担当：池上 中国語担当：藤原
受付時間：平日 10：00～18：00
TEL：088-656-3320（相談電話）
日時、内容等により依頼にお応えできない場合もありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受け取ることができます。

年会費 個人会員 一口 3,000 円 / 年度
団体会員 一口 5,000 円 / 年度
詳細は当協会まで。資料をお送りします。

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

楽しく、愉快地に多文化交流 & 異文化理解！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流事業などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

編集後記

徳島県では阿波踊りが終わると、残暑の中にも秋の訪れを感じます。阿波踊りが開催される前には徳島市のあちらこちらで聞こえていたぞめきも聞こえてこなくなり、それに代わって虫が奏でる音色が聞こえてくるようになります。皆様、夏の疲れが出ないように、ご自愛くださいませ。

問い合わせ： 公益財団法人徳島県国際交流協会

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-61
クレメントプラザ 6F

Tel : 088-656-3303

Fax : 088-652-0616

URL : <http://www.topia.ne.jp>

Email : topia@topia.ne.jp

